



## 頑張る相川の子どもたち

4月からの学校生活をふりかえってみると、6年生の修学旅行、5年生の林間学校、4年生の連合音楽会と大きな行事も、立派にやり遂げることができ、それぞれに良い意味で課題をもちながら次のステップを歩んでいます。

また、初めて小学校へ入学した1年生も少しずつ学校生活に慣れ、2年生はお兄さんお姉さんぶりを発揮し成長につながっています。3年生は、理科や社会、総合的な学習の時間等の教科も増えたり、お習字やリコーダーなど新しい事へも挑戦してきました。

1学期も残すところ1ヶ月をきっているこの時期は、「6月の山」でもあります。4月当初の新鮮な感覚から、慣れも出始め、学年や学級もその良さも課題も固定化してくる時期です。いいかげんなルールが定着してしまう時期でもあるし、生徒指導的な事案も発生しやすい時期です。

6月の職員会議では、私から職員へ「一事徹底」の指示を行いました。特に教師も子どもたちもお互いに「時刻を守って活動していく」ということです。それから、「教師が子どもたちに話をする時は、教師の話を聴く体制・環境を作ってから話す」ということです。

授業中の集中力、話を聴く力を今よりもグレードアップさせていきたいと思っています。

このようなことは、些細なことなのですが、学校全体として課題として取り組むべき事だと私は思います。こういったことをおろそかにしないで、全教職員で徹底して取り組んでいくことが、子どもたちのこの先の学校生活や教育活動をより豊かに円滑にしていく大切なことだと思います。

相川小の子どもたちは、この1学期は特に校内での「あいさつ」、清掃活動に本当によく取り組んでいます。あいさつは、言葉で言うだけでなく、会釈も少しずつ見られるようになってきました。また、そうじの仕方もとても上手になってきました。働き方も一緒にそうじをされていて気持ちがいいです。子どもは、少しずつ豊かに成長しているのですね。すごいことです。

子どもたちと向き合い、子どもたちの心を褒めながら、この「6月の山」を教職員で力を合わせて乗り越えていきたいと思っています。

## 「いじめ」について感じて考える

6月17日(月)にNPO法人ジェントルハートプロジェクトの小森 美登里さんを講師にPTA親子学習会を行いました。当日は、保護者の皆様32名が参加してくださいました。

小森さんからは、「ごめんなさい」と謝ること、理由があれば人は人を傷つけていいのだろうか、無視は心のリンチであること、また、一人一人の違いを発見し認めていくこと、やり返すということの危険性について話されました。

小森さんは、子どもたちに「人は自由の翼をもって生まれてきています。幸せに自由に生きる権利の象徴です。お互いの自由の翼を大切に合っ

てほしいです。」と優しく語りかけました。

子どもたちの心に届くお話しでした。

(裏面の資料もご覧ください。)

## 「子どもの命と安全を守る」

### ～熱中症から子どもを守る～

熱中症の危険が増す時期になってきています。本校では、熱中症防止総合対策を打ち立てて、子どもたちを熱中症から守っていきます。

ご家庭におきましては、

- ①規則正しい生活 ②十分な睡眠と食事
- ③水筒の持参 について協力をお願いします。

今年度は、運動会に関わって熱中症予防対策のため練習時間とその内容、また当日の実施時間の縮減のために改善を図っています。熱中症予防の具体策につきましては、学級懇談会の時に説明させていただきます。

### ～「低くて美しい表現運動」を学ぶ～

6月25日に運動会の高学年表現種目について、「低くて美しい」をテーマに、日本体育大学 三宅良輔先生を講師として招き、6年生をモデルに高学年担任が、横に広がっても美しく見える、こうした考え方や実施法を学びました。

三宅先生は、「歯をくいしばってやるものでなく、子どもたちが笑顔で声を掛け合い、体を合わせて協力していくもので楽しさと達成感も得られる。」と述べられました。改善を図っていく新しい時代の新しい表現運動に期待してください。